

WEEKLY

週間メニュー

MENU



- 月 女性と仕事
- 火 生活とマネー
- 水 いま、はやりもの
- 木 **いきいき関西**
- 金 リフレッシュ

木曜日 THU

関西地方、とくに大阪府東南部の泉州・河内と呼ばれる地域で頻りにみられるのがこの「さすべえ」。ご存じないでしょうか？ そんな方はぜひ、一度、小雨そぼ降るミニミニに足をお運びください。

さすべえは自転車用の傘ホルダーです。雨の中、傘を片手でさしながら自転車をこぐのはたいへん危険。さすべえを取り付けることによって、安全に両手でハンドルを持って、ペダルをこぐことができるわけです。もちろん、夏の日差しが強い日には、日傘をとりつけることも可能です。

さすべえ

筆者は関東、関西、九州に住む四十代女性それぞれ十人にたずねました。

「さすべえって知ってる？」

すると、関東では知っているが二人、使っているがゼロ、九州では知っているが三人、使ったこと

があるが一人でした。しかし、関西ではなんと、九人が知っており、うち、六人が現在使っていると回答しました。

というところで、関西の、おそろく三十代、四十代女性に人気を博しているこのさすべえ、かつて大

阪21世紀協会主催のアイデア商品部門「大阪スケレモノ21賞」にも選出されました。

大阪の普及率、全国一

始まりは関西

しかし、あっと驚くことが判明。このさすべえ、実は関西発の商品ではないのです。筆者も冊子「始まりは関西」編集時、関西の市民の方から紹介いただいたので、てっきり関西発の商品と思いつ込んでいました。ところが、関西でこれだけ認知度が高く、実際に使用されているにもかかわらず、関西発ではなく、愛知発だったのです。

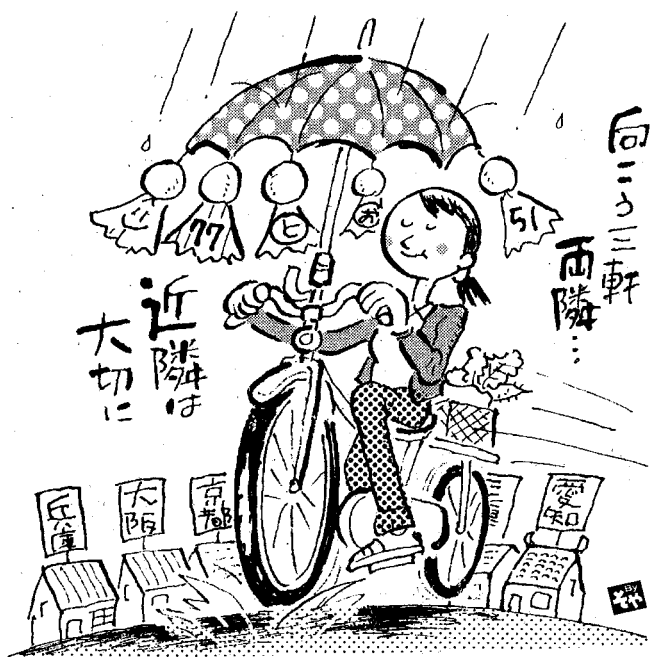
間違いなく関西。その意味では、始まりはいつも関西。決して間違っているわけはありません。むしろ、さすべえの利用に見られるように、商品の普及においても「新しいもん好き」の関西が日本を、世界を引っ張っているのかもしれない。

これを開発・販売しているのはアイデアグッズの企画・製造・販売をおこなっているユナイテッド社によると、自転車保有率の多さとせっかちさが、とくに大阪で人気を博した原因と分析しています。大阪の普及率はもちろん全国ナンバーワンだそうです。

ちなみに現在の大阪の礎をついたのは豊臣秀吉ですが、その豊臣秀吉は本能寺で倒れた織田信長の家来でした。豊臣秀吉も織田信長もご存じの通り、現在の愛知県にあたる尾張の国の生まれでした。織田信長はかつて尾張の国の清洲を本城とし、そこから桶狭間の戦いに出陣し、豊臣秀吉とともに天下賦武を目指しました。

愛知発とはいえ、さすべえの商品価値を認め、人々に広めたのは

（明治安田生命、関西を考える会代表 真野修三）



イラスト・上新保行